

科目名 Subject	デザイン演習 I Design Work I			教員名	林 美喜	
開講年次	1	開講時期	前期	単位	2単位	
必修／選択	必修	授業形態	演習	時間	30時間	
実践的教育	○					
主な学習効果	美容技術とデザイン力、すなわち美容における実践力			表現力、すなわち芸術における実践力		
	－			◎		
科目の概要	物事を観察する事、分析する事、発想することによりよりデザインワークを学ぶ。デザインスケッチ、図面表現等、プレゼンテーション技術も学ぶ。					
授業方法	対面授業					
授業の目標	作品制作により、デザイン行為の理解を学び実践できるようになる。又、デザイン目標に到達する力を養うことができる。基礎デザインの演習をくりかえし、応用力を身に着ける事ができるようになる、さらに社会に対応できるデザイン力を学び実践する事ができる。					
時間外学習 （予習・復習）	身近にある様々な色や形の変化を観察する。色々な物、商品やファッション等の小さな変化による見え方の違いを日常でも観察し分析できるようになる。観察する時間は1回に短時間でも良いが回数を増やし、分析する時間を含め、週に2時間程度を目安とする事。					
教科書・教材	教科書		教員林美喜作成の課題プリントを配布、図版等印刷物配布。			
	教材		課題内容に合わせ適宜用意する。デザインマーカー、ケント紙等、他			
	使用設備・備品		PC、プロジェクター、AV機器			
	参考文献		課題毎に適宜提示『芸術・デザインの平面構成』朝倉直己著、六耀社、他			
評価方法	1. 課題作品の製作途中と完成後の講評50% 2. 完成作品提出50%の総合評価					
	なお、出席数が不足の場合は評価対象とはしません。					
学生への フィードバックの方法	個別に実地指導を行います。					
履修上の注意	作品制作が重要だが、学士申請に役立つので作品の保管や情報保存を怠らない事。					
本科目履修と 関連する資格	資格名	なし				

授業計画			
	授業内容	到達目標	予習・復習・備考
第 1 回	オリエンテーション、授業概要解説	この授業の内容を理解する。	身の回りにあるデザインを観察しデザインの種類を調べる。
第 2 回	視覚伝達、発想の基礎演習を学ぶ	たくさんのアイデアを出せるようになる。デザインに必要なことを学び実践できる。	立方体で出来ているものを探す、包装紙や箱の表面グラフィックを観察スケッチ等する。
第 3 回	視覚伝達、構成の基礎演習でイメージ伝達を学ぶ	対比の言葉をテーマに画面構成を制作し、他の人にそのイメージを伝えられるように視覚伝達を学び実践できる。	対比する言葉を調べる。広告画面のグラフィックとコピーの関連を調べる。
第 4 回	コラージュによる色面構成を学ぶ	印刷物を切り貼りして新たな作品を作る。イメージと色や形の関係を学び実践する。	好きなタレントやモデルのメークやファッションからイメージを広げ、似合いそうなインテリアやアートの解説文を書く。
第 5 回	コラージュによる色面構成制作と講評	課題説明、制作、講評を通してデザインプロセスを学び実践できる。	色々な人の表情の画像を探し、楽しい顔と悲しい顔を選びスケッチする。
第 6 回	デザインスケッチテクニックを学ぶ、上手い絵ではなく説明できる絵を描く	デザイナーのためのスケッチ術を学び実践する。	自分の持ち物を鉛筆でスケッチする。
第 7 回	デザインワークとプロセスを学ぶ1 コンセプトボード制作、デザインアイテムとキーワード	髪か脚を飾る物の種類を思いっただけ挙げる。自分がデザインできそうなアイテムを選び、絞り込みデザイン制作できる。	髪を飾るを選んだものは頭部の、脚を飾るを選んだものは脚のスケッチをする。
第 8 回	デザインワークとプロセスを学ぶ1 コンセプトボード制作、デザインスケッチ	デザインしたものを限られた画面にまとめて作成できる。	既存の髪飾りや脚を飾る物をリサーチして来る、自分の選んだ方。
第 9 回	デザインワークとプロセスを学ぶ1 コンセプトボード制作、デザインスケッチ完成	デザインしたものをスケッチや言葉でひとつの画面にまとめて作成できる。	自分が選ばなかった方もリサーチする。
第 10 回	プレゼンテーションの実施と講評	デザインしたものを他者に伝達する方法を学び実践できる。	自分の持っている物のデザイン評価をする、優れているところとそうでないところを文章にする。
第 11 回	デザインワークとプロセスを学ぶ2 立体デザインと素材一紙。毎回、途中経過の発表をする。	ケント紙を折ったり切ったりする実験をして造形の可能性を学びデザインモデル制作を実践できる。	食器のリサーチをしてくる。
第 12 回	デザインワークとプロセスを学ぶ2 立体デザインと素材一紙。紙皿のデザイン	アイデアスケッチと制作をまとめて作成できる。途中経過の発表をする事でデザインプロセスの見直しを学び実践できる。	自分の家にある食器にスナック菓子を入れた状態でスケッチする。
第 13 回	デザインワークとプロセスを学ぶ2 立体デザインと素材一紙。紙皿のモデル制作	デザインした紙皿の立体モデル制作をする事でデザインプロセスを学び実践できる。	紙で出来ている物にはどんな物があるのかりサーチしてくる。
第 14 回	デザインワークとプロセスを学ぶ2 立体デザインと素材一紙。コンセプトボード及びモデル制作	紙皿の展開図とレンダリングをコンセプトボードにまとめて作成できる。	図面の種類を調べてくる。
第 15 回	プレゼンテーションの実施と講評、立体モデルの撮影	コンセプトボードとモデルでデザイン内容を表現する。自分のデザインを発表する事で視覚伝達を学び実践できる。	小物の撮影をする、色々なアングルを変えて行う。